

TIME	内容
	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>藤井： 藤井未莉佳です。 8月後半号ということで、暑い日が続きますね。</p> <p>田村： 暑いね。すごいね、ほんと。</p> <p>藤井： 蝉がうるさいし。</p> <p>田村： 蝉もすごいね。数分で汗だくになるもんね。</p> <p>藤井： 着替えなきゃいけないくらいの汗が出ますよね。</p> <p>田村： しかも小学生、中学生のみなさんはコロナの影響もありますから 休業の間でもオンライン授業とか、わりと勉強勉強の毎日なのかもしれませんね。</p> <p>藤井： コロナに気を付けながらも、元気に遊んでもらいたいですね。</p> <p>田村： 気をつけるっていても限界があるけどね。</p> <p>藤井： 夏のお楽しみは来年に取っておくとして…。</p> <p>田村： ええこと言うわ！この人ええこと言う！</p> <p>藤井： 「コロナウイルスに気を付けながら、夏を楽しむ」という過ごし方を 今年はしていただきたいと思います。</p>

田村：

さあ、まずはこのコーナーからまいりましょう！  
「スイタ80th（エイティース）ニュース！」

藤井：

このコーナーでは、市制80周年に関するニュースを不定期にお届けします。  
早速参りましょう！みんなの人気者が吹田の街を走ります。

### ナレーション・藤井

吹田の人気者といえば、我らが「すいたん」、そして「ガンバボーイ」ですね。  
これらがあしらわれたラッピングバスが現在、吹田の街で運行中なんです。  
市制80周年記念のロゴやコピーもバッチリ入ってます。

### インタビュー（吹田市職員）

ホームタウンの推進事業の一環として、こちらのバスラッピングをさせていただいたんですけども、市民の皆様にも少しでもガンバ大阪を身近に感じていただいて、少しでもたくさんの方に興味を持っていただけるようになってという願いを込めて、こちらのバスラッピングを作製しました。

### インタビュー（ガンバ職員）

ホームゲームの試合で、試合終了後の臨時バスをこのパナソニックスタジアム吹田から山田駅まで出ますので、その臨時バスのうち1台をこのバスで運行してもらいたいようなことはお話しはいただいているので、是非試合勝って、気持ちよくバスに乗り込んでいただいて、気持ちよく帰っていただければなというふうに思います。

### ナレーション・（藤井）

このバスは来年の3月末まで、市内の各ルートを運行する予定ということです。

田村：

いいですね。なんか元気になりますね。  
僕は吹田出身なんで、阪急バスがすごく好きなんですよ。  
バスといえば、あのカラーなんです。だから、この辺に来るたびに  
あのバス見るだけでも元気になるんです。

藤井：

このバスは臨時バスのうち1台だということで、巡り合えると良いことが  
ありそうですね。

田村：

写真撮って Twitter とか SNS に上げたいですね。

藤井：

(スタジアムへ) 行く時とかにサポーターの方々が乗って当たったら  
縁起が良いって気持ちになりそうですね。

田村：

嬉しいですね。

藤井：

ここまで「スイタ80thニュース」でした。続いては特集です。  
今回は「吹田でがんばる！パラアスリート」です。それでは、ご覧ください。

### ナレーション

来年に延期となった「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」。そんな夢の舞台をめざしている若者が、ここ吹田にいます。今回は、陸上競技選手として初めてのパラリンピックを目指している、若き女性アスリートを追いました。

### タイトル：「吹田でがんばる！パラアスリート」

### ナレーション

早朝の吹田市立総合運動場。こちらで陸上競技の練習を行っているのは竹村明結美（たけむら・あゆみ）さん。彼女は日本パラリンピック委員会、日本パラ陸上競技連盟の強化指定選手です。競技種目は？

### 明結美さん

メインは100mと400mです。

### ナレーション

竹村明結美さんは日本を代表する短距離走の選手。軽度な障害があるクラス、T38でのワールドランキングは100m、400m共に世界3位です。強化指定選手に決まった時は、どんな気分でしたか？

### 明結美さん

もっと練習しないといけないなど。

### ナレーション

明結美さんは、1999年生まれの21歳。生後5ヶ月の時、眠っている間に心肺停止状態となり、救急処置で一命は取り留めたものの、後遺症による脳の損傷と身体麻痺が生じました。性格は活発で競うことが大好き！中学で陸上を始め、ジャパンパラ競技大会に出場するなど、みるみる頭角を現しました。競技で楽しいと思う事は？

### 明結美さん

大会の時です。競えるから。誰かと競ったり、抜こうと思えるから楽しくて、練習の時はそれがない。

### ナレーション

明結美さんの練習には、お母さんの陽子さんが付き添います。

お母さん

本人が視覚障害もありまして、移動するのに介助が必要なのと、荷物もたくさんありますし、一人での練習より誰かが一緒の方が本人も気持ちに乗るのかなと思うので、一緒についてます。

ナレーション

練習場所の確保やトレーニングメニュー作りなども当初はお母さんの仕事でした。そのため、お母さん自身も陸上の専門書を読むなど勉強を重ねたそうです。

お母さん

本人と一緒に走ってと言った時は一緒に走ります。同じ距離は走れないので、少し手前から走ってゴールだけ引っ張ったり、そういう感じです。

ナレーション

明結美さんの性格は？

お母さん

やると決めた事はきっちりこなすタイプで真面目だと思います。

ナレーション

もちろん明結美さんをバックアップするのはお母さんだけではありません。この日はマシントレーニングのため梅田へやってきました。こちらは、初動負荷トレーニングを行うジム。

コーチ

初動負荷トレーニングとは、専用のB.M.L.Tカムマシンを用いて行うトレーニングで、競技動作の瞬発力、加速度やパワーの向上、関節可動域の拡大、故障の防止などを目的に、数多くのアスリートが実践している最新トレーニングです。

ナレーション

手足に麻痺があるため、関節が固まりやすいという明結美さん。そこで週に一度、このトレーニングを取り入れているそうです。

コーチ

今日はどうです？体が固まっている感じとかはどうです？

明結美さん

100%ある。

コーチ

100%ある！？

ナレーション

ゆっくり関節をほぐしつつ、筋肉も伸ばしていきます。

コーチ

顔まっすぐ！

ストレッチ+ $\alpha$ で筋肉を重りを使って伸ばしてあげないと。

そこからはトレーニングとマシンと陸上の練習を積み重ねてできるように。

ナレーション

最近、アスリートならではの悩みがあるという明結美さん。

明結美さん

去年とかは大会があって、練習があったので良かったんですよ。

今年は大会が9月までないので、練習ばかりなんで、なんか嫌になる。

NA

新型コロナウイルスの流行で大会は全て中止。

自分がどの位置にいるのか、それも分からず手探り状態が続いているのです。

そんな追い詰められた時に必ず来るのがこちら。

ここは明結美さんが通っていた高校。

明結美さん

先生、久しぶり！

山田先生

お久しぶりです。

ナレーション

高校時代の恩師。山田先生がいつものように出迎えてくれました。

NA

廊下の壁にはたくさんの写真が。その中には、明結美さんの写真も。

実はこちらの学校、元々は陸上部がありませんでした。

しかし、明結美さんが在校時、陸上部を立ち上げたのです。

教室に入ると懐かしいものが用意されていました。それは卒業アルバム。

スタッフ

懐かしいですか？

明結美さん

いや。そこまで懐かしい事はないです。

山田先生

ほんまに？ 私はめちゃめちゃ懐かしいですよ。

スタッフ

明結美さんはどんな学生でしたか？

山田先生

どういう学生？

明結美さん

変な事を言ったらダメだよ！

山田先生

なんでも全力というか、勉強も行事も友達に対しても全力で元気よね？  
とにかく明るくて元気で頑張り屋さんだったなど。

スタッフ

クラスでも中心的な？

山田先生

みんなキャラは濃かったけど、その中でも目立つタイプだとは思いますがね。  
でも引っ張ってくれる系のタイプですね。みんなに声かけて頼れる存在ですね。

ナレーション

実は、明結美さんは今回の取材であまり笑顔を見せてくれませんでした。  
しかし、この場所ではいっぱい笑顔を見せてくれました。  
ここはプレッシャーから解放してくれる場所なのでしょう。

山田先生

ここまできたらあと一歩。最後の最後まで夢掴むまでやり切って欲しいなと  
思います。頑張ってください。

ナレーション

現在は9月に行われる大会に焦点を当て、練習を重ねている明結美さん。  
今は最後の追い込みの時期です。  
親子2人3脚でめざしている東京パラリンピックの夢。  
普段、お母さんに対して感謝の気持ちを示さないという明結美さんですが、

実はお母さんの誕生日にあるものを手渡してくれたそうです。  
それは感謝の手紙。

お母さんへ。  
いつもいろいろしてくださり本当に感謝しています。  
小さい時から小学校、中学校、高校、専門学校など、私が嫌な思いをしない所を  
選んでくれて、本当に感謝でいっぱいです。

この手紙は私にとって一生の宝物だとお母さんは教えてくれました。

#### お母さん

明結美は常に一生懸命いろんなことに取り組んできたんですけども、  
小さい頃に取り組んできたことがようやく今確かなものになって自分の自信に  
繋がっていると思うんです。なので今頑張っている事は、10年後20年後に  
自分の道筋になっていくと思うので、とにかく今自分にできる事は何かという  
ことを意識して、これからの人生を歩んで欲しいなと思います。

#### ナレーション

夢の舞台まで、あと少し。  
まずは9月に行われる大会を目指して、明結美さんは今日も吹田で未来を  
夢見ながら頑張っています。



TIME	内容
	<p>田村： すごいね、これは感動しますね。</p> <p>藤井： そうですね。</p> <p>田村： 吹田にこんなにすごい人がいらっしゃるなんてねえ。</p> <p>藤井： お母さんも一緒に頑張っていらいっしゃるのが。</p> <p>田村： お母さん偉いわ。すごいわ、ずっと二人三脚で。トレーナーの役割も果たしてるというのがね。母親はすごい偉大やな、本当に。</p> <p>藤井： 陸上のことを一から勉強されたそうなので。</p> <p>田村： そりゃそうでしょうね。</p> <p>藤井： 活躍をいつも近くで見られるっていうのは、羨ましさというか、お母さん自身もやりがいを持ってやっっていらいっしゃるのが表情から伝わってきたんですけど。</p> <p>田村： お母さんも表情いきいきしてたもんね。 ただ、娘さんの明結美ちゃん、陸上部ないところに作ったりとか。</p> <p>藤井： エネルギー！</p> <p>田村： なかなか真似出来へんよ。それでパラリンピック目前まで来てるというのは、だいたいエリートの人がオリンピックに向かっていくねんから、それを自分で作った部からあそこまでいくというのは素晴らしいので。モチベーション、今がしんどい時期やと思いますけど。競うのが楽しいって言ってましたからね。</p>

	<p>藤井： そのエネルギーで頑張ってパラリンピックでも活躍してほしいですね。</p> <p>田村： 応援してますので頑張ってください。夢を掴んでください。</p> <p>藤井： 以上、特集でした。</p>
	<p>&lt;ワンポイント手話&gt; 『かさが壊れました』</p>
	<p>田村： 今回は JR 吹田駅前 旭通商店街にやってきたんですけども、 用があるということで呼ばれてるんですよ。 何か聞いてないんですけども、とりあえず行ってみたいと思いますので、 ついてきてください。果たして何の用があるのでしょうか。 私にできることならば、良いんですけど。</p> <p>誰かいらっしゃいますね。こんにちは！ 何も聞かされずにやってきたんですけども。「用がある」と言われて来ました。</p> <p>城崎さん： 今日はお願ひしたいことがあるんですよ。</p> <p>田村： お願ひしたいこと。一体何なんですか？</p> <p>城崎さん： 簡単なことなんですけど、最近コロナでなかなか家から出れなくて、 「お店に来たい」という声もありまして、地元のお店が自宅に デリバリーしたいという。</p> <p>田村： なるほど。どこまでもは無理やけど、手の届く範囲には届けようと。 僕も自粛期間中、自粛明けも家でご飯食べることが多いんですけど、 デリバリーとかテイクアウトがすごく増えてますので、僕で良ければ ぜひとも配達させてください。</p>

ナレーション・田村

今回、僕が依頼されたのは、JR吹田駅前の商店主さんが発起人となってスタートした「スイタブルイーツ」というデリバリーサービス。

現在14店舗が加盟しています。

注文は公式LINEアカウントからできるという手軽さ。

その中から今回は「旬屋 じょう崎（しゅんや じょうざき）」さんのメニューをデリバリーします。

田村：

メニューはどんなメニューがあるんですか？

城崎さん：

メニューはですね、デリバリーは4種類なんですけど、今日は「松花堂弁当」。

田村：

注文入ってるんですか？

城崎さん：

はい。3つ入ってます。

田村：

ちなみに、こちらのお店は何年くらいやってるんですか？

城崎さん：

うちで25年やってます。

田村：

場所はずっとここで？

城崎さん：

同じ場所ですね。

田村：

すごいですね。一番人気メニューは何ですか？お弁当の中では。

城崎さん：

やっぱり、松花堂が一番人気ですね。

田村：

そうですか。

城崎さん：

今日はサワラを焼き魚として入れてます。

田村：

うわー。良いですね。これは盛り上がるわ。上品やし、美味しそう。

城崎さん：

いろいろと季節のお野菜からお魚、いろいろと入ってますので、

田村：

これは、食卓にこれが並んで、目の前に置いてあるだけで、まず幸せです。幸福感のあるお弁当ですね。食べなくても幸せになれる。なおかつ食べて美味しいという。これは喜ばれますね。

ちなみにですけども、配達員の方というのは、どういうふうに使われているんですか？

城崎さん：

バイト料は一軒につきお客様から100円、お店側から150円。  
一見少なそうに思うんですけど、実は特典がありまして、どこかの店舗の賄いを食べることができるという。

田村：

それ、嬉しいですね。今日は僕も賄い食べられるんですか？

城崎さん：

今日は残念なんですけど。

田村：

何で？ 何で今日だけ無いの？

城崎さん：

また次回ということで。

田村：

わかりました。  
さあ。ちゃんと配達しますからね。  
この商店街もコロナの影響で閉店してしまったところもあるかもしれないし、営業時間減らして大変でしょうね、本当に。あっ！これちゃいます？  
「スイタブルーツ」に名前あったような。こんにちは。やっぱり。  
「粉武士(こぶし)」さん。「スイタブルーツ」に登録されてますよね。

粉武士店主：

はい。

田村：

今、僕「スイタブルイーツ」の宅配を。

粉武士店主：

そうなんですか！？

田村：

また、あったら言ってください。賄ってくださいね。その時は。

こちらですね～。いきますよ。

お客さん：

はい。

田村：

スイタブルスイーツです～。

お客さん：

はい。

田村：

気づいてくれるかな？ 何のリアクションもなかったらどうしよう。こんにちは。

お客さん：

うわー！こんにちは。びっくりした！

田村：

はははは。危ない、危ない。よかった。スイタブルイーツ持ってきました。

お客さん：

ありがとうございます。

田村：

こんにちは。

お客さん：

びっくりした。

田村：  
持ってきましたよ、お弁当。

お客さん：  
ありがとうございます。

田村：  
今日はどんな集まりなんですか？このお三方は。

お客さん①：  
同じ幼稚園のママ友で。

田村：  
じゃあ、子どもたちは幼稚園行ってんねや。その間にこんなに良いお弁当を3人で。

お客さん①：  
こそっと。「じょう崎」さんには前から一度行ってみたいとお話していたんですけど、なかなか子ども居たら行けないので、行きたいなと思ってて。

田村：  
皆さんの喜ぶ顔を見るために運んできましたよ。

この「スイタブルイーツ」で次また他にも狙っているものがあったりするんですか？ あれ頼んでみようかなとか。

お客さん②：  
「サンスーシ」が気になっています。

田村：  
算数式？ 何屋さんですか？

お客さん②：  
イタリアン？フレンチ？ 行きたいんですけど、子連れではちょっと行きづらい感じのテーブル席しかなくて、それが頼めるのが良いなと。またゆっくり家で。

田村：  
普段、行きにくい店をデリバリーで頼めるという良い側面があるんですね。これは知らなかったので嬉しい発見ですね。  
今回、スイタブルイーツということで僕が宅配させていただきましたけども、ご満足いただけましたか？

	<p>お客さん： （うなずく）</p> <p>田村： ああ、良かった。</p>
	<p>田村： 言わなしゃーない。</p> <p>藤井： お疲れさまでした。</p> <p>田村： ありがとうございました。</p> <p>藤井： 喜んでました？皆さん。</p> <p>田村： たぶんね。</p> <p>藤井： 料理にはすごい喜んでましたよね。</p> <p>田村： 料理にはすごい喜んでました。「これも旨い、あれも旨い」って。</p> <p>藤井： アルバイトする方にも、少しのお小遣いと賄いが食べられるっていうのは すごくいいですよ。</p> <p>田村： 賄いなんて働かないと食べられへんメニューなんで嬉しいですし。 みんなが幸せになれる。さっきの「算数式」さん、「サンスーシ」さんですけど 普段行きにくいけど家でやったら気兼ねなく注文できるところっていうのも このコロナの状況で生まれた良い側面だと思いますので、たくさん利用して いただきたいと思います。</p>

藤井：

ママ会とかで利用するの、すごく良いなと思いました。

田村：

旦那が居ない間に散々盛り上がってください。

藤井：

そうですね。こっそりね。以上、「スイタブルイーツ」のコーナーでした。



<藤井 ナレーション>

トリキリ①

特別定額給付金について、  
申請期限は8月25日（火）まで、消印有効となっています。  
申請漏れのないようご注意ください。

吹田市特別定額給付金コールセンター

電話 050-5370-7935

引き続き、給付金に関する悪質商法や詐欺などに注意してください。

トリキリ②

7月以降、吹田市を含め全国で  
新型コロナウイルスの感染者数が増加しています。

引き続き、感染防止対策の徹底をお願いいたします。  
日頃から感染防止対策をとった行動を心掛けていたつもりでも、  
わずかな気の緩みから感染リスクの高い行動をとってしまうことが  
考えられますので、ご注意ください。

- ・マスク着用、手洗い、咳エチケットを行ってください。
- ・3密で唾液が飛び交う環境を避けてください。
- ・マスクを外す場所、休憩室・喫煙所などにおけるおしゃべりは控えてください。
- ・施設利用時においては、利用中の感染防止対策はもちろんのこと、  
利用前後の感染リスクにもご注意ください。

最新の情報は、  
市ホームページ、ツイッターなどでお知らせしています。

TIME	内容
	<p>田村：                      続いては、市内で行われた出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。</p> <p>藤井：                      はい。今回は7月の話題をお届けします。</p>
	<p><b><u>ナレーション</u></b></p> <p>7月21日、古江台小学校で「ビオトープ」の完成式がおこなわれました。</p> <p>このビオトープは、児童らの環境学習に役立てるとともに、人と生き物が集う憩いの場になればと、「すいた体験活動クラブ」や地元企業などの協力のもと、昨年の11月からおよそ3ヶ月間にわたって子どもたちが作業を行い完成させました。</p> <p>完成式では、昨年度の1年生から5年生が考え、6年生が投票で選んだビオトープの愛称「ビオガーデン」の命名式がおこなわれました。</p> <p>そして、ビオトープ製作にあたってお世話になった「すいた体験活動クラブ」に感謝状が贈呈され、テープカット、ドジョウとメダカの放流がおこなわれました。</p> <p>最後に、自分たちのメッセージが書かれた橋の上を渡り、手作りのビオトープの完成を祝っていました。</p> <p><b><u>インタビュー①</u></b></p> <p>みんなの手で一生涯懸命作ったビオトープなので、やっと完成式を迎えられてとても嬉しいです。休み時間になったらみんなが集まってくるような、楽しい所にしたいです。</p> <p><b><u>インタビュー②</u></b></p> <p>僕たちは土を掘って持っていくという作業をずっとおこなっていたので、その作業が一番大変でした。生き物をたくさん見たり、楽しめるようなビオトープにしたいです。</p>

TIME	内容
	<p>藤井： みんなで頑張って作ったんですね。完成度高かったですよね。</p> <p>田村： 高いし、大きいし、水流れてきてとか、藻の生え方、水草の生え方とか すごく美しかったですね。</p> <p>藤井： 水の音も今、画面越しに癒されましたね。</p> <p>田村： 橋も表面からは分からへんけど、裏を見たらみんなのメッセージが 書いてあるとか、シャレオツでしたね。</p> <p>藤井： 本来の完成式は3月3日の予定だったそうなんですよ。 でも、コロナの影響で4ヶ月半遅れて、やっと完成式が出来たということで、 旧6年生は中学1年生になっちゃったので、残念ながら参加できなかった そうなんですよ。</p> <p>田村： あ、そうか。名前を決めた6年生たちは見てないんや。</p> <p>藤井： そうなんです。</p> <p>田村： でも6年生にとっては、いつかあの時作ったやつ、自分たちが名前を投票で 決めた「ビオガーデン」が…ってのを、いつか見に来るといふ。 明結美ちゃんみたいに帰ってくるきっかけになっていいですね。</p> <p>藤井： どんどん受け継がれて行ってほしいなと思いました。</p> <p>田村： そうそう。いろんな生き物が増えたりね。どんどん発展して行ってほしいですね。</p> <p>藤井： ということで、トピックスのコーナーでした。 あっという間にエンディングになりました。</p>

田村：  
エンディング！早いね！

藤井：  
今回は新しい企画も登場しまして。

田村：  
久しぶりにトピックスも、コロナ後、初ですからね。

藤井：  
吹田の皆さんの頑張ってる表情が見られましたよね。

田村：  
コロナと上手く付き合いながら、いろんなことが再開されていき、  
いろんなことが廻り始めてるのが感じれて嬉しい回でしたね。

藤井：  
田村さんも配達員やってましたからね。

田村：  
そうですね。  
「スイタブルーツ」、素敵な試みですし、地元貢献にもなりますから  
たくさんの方に利用していただいて、吹田の笑顔が増えるといいですね。

藤井：  
そうですね。  
古江台小学校のビオトープみたいに思い出に残る番組が出来たらいいですよ。

田村：  
2人とも素敵なことを言いました。良いエンディングです。

藤井：  
これからも役立つ情報を引き続きお届けしていきたいと思っておりますので、  
引き続きご覧ください。

田村：  
よろしく申し上げます。それでは、また次回お会いしましょう。さようなら！